

「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査協力者会議」資料

群馬県伊勢崎市立宮郷小学校 養護教諭 小林幸恵

1 養護教諭のコーディネーターの役割

(1) 現状

- ①教職員及び校内組織とのコーディネートは 88%、保護者とのコーディネートは 76%、学校医等とのコーディネートは 76%、スクールカウンセラーとのコーディネートは 72%、スクールソーシャルワーカーとのコーディネートは 37%、地域関係機関等とのコーディネートは 46%であった。

(R2 年度養護教諭の職務等に関する調査—日本学校保健会)

②実践例

- ・不登校・保健室登校、虐待、いじめ、発達障害、食物アレルギー、学校行事の参加、新型コロナウイルス感染症防止対策等

(2) 成果と課題

①成果

- ・心身の健康課題を抱えた児童生徒、一人一人のニーズに配慮した教育活動や合理的配慮の合致点を見いだすことができる。
- ・学校内における連携や地域の関係機関との連携が推進され、組織的・協働的に健康課題の解決に取り組めるようになった。

②課題

- ・役割を果たすために必要な医学的な情報や現代的健康課題等について、最新の知見を学ぶ機会の充実
- ・スクールソーシャルワーカーや地域の関係機関との連携の促進
- ・時間不足

2 研修体制の整備

(1) 指導養護教諭

①概要等

- ・優れた指導力を有する養護教諭を、指導養護教諭として任用する。
- ・指導養護教諭から他校の養護教諭に対し、学校保健業務等のノウハウを伝授することにより、養護教諭全体の指導力の向上を図る。

②職務内容

○地域内の養護教諭資質向上の推進

- ・訪問指導（新規採用養護教諭、2～5年目採用養護教諭、支援が必要な養護教諭）・研修会の支援（講師や助言、運営の補助等）

○地域学校保健活動の推進

○学校運営

③配置等

- ・加配定数で配置（小・中学校）
- ・複数配置校の1名をもって配置（県立学校）

(2) 養護教諭指導リーダー

①趣旨等

- ・保健室経営等の実践力に優れ次世代のリーダーとなる養護教諭を養護教諭リーダーとして任命する。
- ・研修会に参加するとともに、2～4年経験の養護教諭を直接指導することにより、県内の養護教諭の中核となるための資質能力の向上を図る。

②内容

- 指導リーダー研修の参加
- 2～4年経験の養護教諭への指導
 - ・保健室訪問指導
 - ・保健室公開

(3) 成果と課題

①成果

- ・人材育成が図られる。
- ・モチベーションの維持向上につながる。
- ・指導養護教諭が初任者研修に関わることで、初任者は安心して職務をスタートできる。
- ・初任者等の対象者の心理的負担の軽減
- ・日頃抱える課題に対して、経験豊富な養護教諭が経験の浅い養護教諭に寄り添いながら指導でき、実践例を示し直ぐに改善を図る事例が増えた。

②課題

- ・指導する養護教諭の研修や交流の場の増設
- ・全世代の養護教諭が気軽に相談できる体制整備
- ・時間と負担感

3 スクールサポートスタッフ（SSS）の活用

(1) 活用事例

- ・校内消毒作業やハンドソープや石けんの補充
- ・保健関係書類の印刷、健康診断の補助、検診器具の洗浄等

(2) 課題

- ・勤務日数や時間が減ってきている（予算の関係）
- ・養護教諭（保健室）の業務補助をしてくださるSSSの配置